

第9回 がんばれ西高!

主権者教育 西高マニフェストプロジェクト

平成30年3月14日(水)

主権者教育の一環として、昨年より「西高マニフェストプロジェクト」が行われています。1年5組の生徒は1年をかけて、自分たちの暮らす松江市のことを調べ、どうすればより良い街にしていけるのか、ということを考えてきました。今回はその最終回として、市議会議員の方々にお越しいただき、自分たちが考えた政策を発表し、様々な感想やアドバイスをいただきました。また、年間を通して、島根大学行政学ゼミの学生さんにもお手伝いいただき、議論の方法などを学びました。

観光班

【課題】

- ・知名度の向上
- ・観光資源の活用、情報発信が弱いのではないか
- ・「民泊」の実施はどうか ⇒観光客を増やす方法は？



松江市のUIターン政策について

- ・「くらしまねっと」で様々な情報を発信している
 - ⇒ 求人情報、イベント開催、住まい・教育などを知れる
 - ⇒ 平成29年度は、353名(5年以上住む予定の方)の定住数
 - ・都市部(東京・大阪・広島など)での相談会開催
 - ・様々な助成金制度
- ↓
- 他県の取り組みと比較してみよう!

【提案】

- ・松江に来る観光客の年齢層(50代~70代が全体の8割)に注目
- ⇒ 中年~高齢者の方に懐かしいと思ってもらえる喫茶店マップの作製(スマホで手軽に検索できるアプリの開発!!)



就職(定住)班

松江市のUIターン政策について

- ・様々な助成金
- ・都市部での相談会の実施
- ・他県との比較



今後について

- ・Rudyを活用したIT都市の推進
- ⇒ソフトビジネスパークが一つの事例
- ・外国人居住者(多文化社会)への対応
- ⇒出雲・斐川地区ではすでに増加傾向



議員の方に日ごろ感じる疑問や意見をぶつけ、積極的に議論が行われました。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。